

第二言語として 英語をマスターするための極意



水俣高校2年 赤司ひなた・田村笑海夏・廣田耕生

要旨

- 非英語圏の英語教育について知り、比較する。
ベトナムの日越大学との交流
- 解決策を考える
- 実践する（ワードウルフ・英単語神経衰弱・English Campus・E.T.）

①背景

○英語を話せる日本人が少ないのに対して非英語圏のところでも英語を話しているところがあるから英語教育について日本との比較をして違いを知り、新しい英語教育方法を提案したいと思ったから。

目的

近年、オリンピックの開催などによって他国との交流が盛んになっている中で、英語力が劣っているという現状を改善したいと考えたから。

仮説

日本では、英語を学ぶということに苦手意識を持つ人が多い傾向にある。そこで、日常の時間や、ゲームなどを用いて学習すれば、楽しみながら英語力を身につけることができる。

③ベトナムとの交流を通して

問題点・解決策

- | | |
|---------|--------------|
| ●共通点 | ●相違点 |
| 文法メイン | ・日本 |
| 正しい発音✕ | 英語に触れる機会が少ない |
| →生活中に学ぶ | →英会話の機会を設ける |
| | ・ベトナム |
| | 速度についていけない |
| | →日常の中に英語を！ |

実践内容

- ・英語版ワードウルフ
- ウルフを英会話の中で見つけ出すゲーム
- スピーキング力・リスニング力
- ・英語神経衰弱
- 同じ意味の単語同士を理解しながら探す
- リーディング力
- ・English Campus
- 休み時間の間クラス内で英語のみを話す
- スピーキング力・リスニング力
- ・E.T (English Talking)
- 英語の授業の中で決められた会話をする活動
- スピーキング力・リスニング力

②調査研究手法

○どのような方法で調べるか

- ・英語教育について
- インターネット、非英語圏の方に聞いてみる（ベトナムの日越大の方に聞く）
- ・効率の良い方法をいくつか取り上げ、それらを実践する。
- 例）ワードウルフ、英単語の神経衰弱、English Campus など

○調査を通して明らかにしたいこと

- ・英語が苦手な人でも英語を楽しみながら学ぶことができるようになるのか
- ・この活動をすることで英語力は上がるのか

④結論・まとめ

○仮説に対する答え

ゲーム感覚で英語を学ぶことによって、英語が苦手な人でも表現する場を設けることができ、英語力を身につけながら楽しむことができる。

展望

○感想

今回の調査研究を通して、英語は好き嫌い分かれる教科であるが、様々な工夫を施せば楽しみながら学べることがわかった。

○このテーマはSDGsの17の目標のどれと関連していたか。

4 質の高い教育をみんなに

10 人や国の不平等をなくそう

○今後調べたいこと、明らかにしたいこと

日本で学んだ英語力で海外にどれほど実践することができるのか。

短期間で証明できることではないので、今回実践した活動を定期的に行う。

引用文献

https://www.wa-juku.co.jp/media/english2021_history/

77720220223

<https://www.ryugakupress.com/epi-2/77720221201>

<https://englishhub.jp/news/2021-ef-epi-result.html>

77720221201

